

# 派遣報告書

平成28年10月26日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員 段塚 廣文



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

## 記

1 派遣期間 平成28年10月19日(水)から平成28年10月21日(金)まで

2 派遣先 (1) 静岡県静岡市 10/19(水) 13:00~17:00  
(2) 静岡県静岡市 10/20(木) 9:00~11:00  
(3) 東京都千代田区 10/21(金) 10:00~11:00

3 視察議員名 段塚 廣文、福谷 直美、丸田 克孝、藤井 隆弘

4 面会者 (1) 静岡県静岡市  
全国市議会議長会フォーラム参加者 約2500名  
(2) 静岡県静岡市  
全国市議会議長会フォーラム参加者 約2500名  
(3) 東京都千代田区  
衆議院議員 石破茂氏 他

5 派遣目的 (1) 静岡市 全国市議会議長会フォーラム1日日  
(2) 静岡市 全国市議会議長会フォーラム2日日  
(3) 千代田区 要望活動

6 視察の経過及び感想  
別紙 会派くらよしアイズ・倉吉自民共同「行政視察報告書」参照

7 添付書類  
(1) 面会者名刺一覧  
(2) 視察先提供資料

要した経費： 3人合計 255,420 円

# 会派くらしアイズ・倉吉自民共同「行政視察報告書」

(視察・調査の経過及び感想)

日時 平成28/10/19(水)～21(金)  
議員 段塚 廣文、福谷 直美、丸田 克孝、  
藤井 隆弘

## 1. 視察・調査の経過及び感想について

(1) 静岡県静岡市 10/19(水) 13:00～17:00

「全国市議会議長会研究フォーラム第1日目」について

スーパーはくと2号、新幹線のぞみ116号、同こだま642号、JR東海道線を乗り継いで東静岡駅に到着。新幹線は止まらないが、新規に開発したと思われる市街地で大きなビル・公共施設等が目立つ。全国からこの大会に参加する議員の列に沿って会場へ。会場前では記念写真用ということで職員がおられ、写真を撮っていただく。会場へ入ると受付、会場への案内と静岡市内はもとより静岡県内あるいはブロック等の関係者の方々が対応にあたられている。全国大会規模の会の開催にあたっての関係者の周到な準備・運営に敬意を払う。

会場では静岡市議団の皆さんによる歓迎の太鼓が披露されていた。会場内には2500名ほどの参加者でいっぱいであった。

開会行事に続き、基調講演「二元代表制と議会の監視機能」(東京大学名誉教授大森彌氏)、パネルディスカッション「監視権の活用による議会改革」(コーディネーター山梨学院大学教授江藤俊昭氏、パネリスト4名)と続いた。

基調講演の主旨は次のとおりである。

- ・ 地方議会は地方自治の根幹をなす機関である。
- ・ 二元代表制といいながら国の考えを通しやすいように首長を味方にした方が都合がよい仕組みとなっている。
- ・ 国会と内閣の関係とは異なり、地方議会に与党野党はない。あえて言うなら首長に対する野党であって欲しい。
- ・ 議会も一つの機関。任期の間にどのようなことを行うか、次の選挙の時に支持されるようなことを行うかが大切。
- ・ 議会は権限を持ちながら、重要な決定をしながら責任をとらない。なぜ? 予算編成、条例など誰が企画立案するのか。多くは行政であるからである。
- ・ 現制度の中で議会の権限をどう示すか。議会は討議をするために集まっている。本来は二元制では対立があるはず。そのためには意思の調整が必要であるが、ほとんど無修正である。チェックは? 真の二元代表制であれば「チーム議会」にならないといけない。大津市議会などの活動は参考になる。

パネルディスカッションでは「監視権の活用による議会改革」をテーマにパネラーの4名、斉藤誠氏「法的視点から見た監視権の活用」、土山希美枝氏「政策・制度の議会による制御としての監視・監査」、谷隆徳氏「メディアから見た議会の監視権」、栗田裕之氏「監視権の活用による議会改革～静岡市議会の取組」という視点での発表がなされ、コーディネーターによって議論が深められた。



(2) 静岡県静岡市 10/20(木) 9:00~11:00

「全国市議会議長会研究フォーラム第2日目」について

宿泊地の藤枝市のJR藤枝駅から東海道線で約30分で東静岡駅に移動。全国市議会議長会研究フォーラムの会場へ向かう。

研究フォーラム2日目は、課題討議と閉会行事である。課題討議のテーマは「監視権を如何に行使すべきか」ということでコーディネーターは佐々木信夫氏(中央大学経済学部教授)であった。

3名の事例報告、佐賀和樹氏(藤沢市議会前副議長)「議員はどうあるべきか〜100条委員会を通じて」、井上直樹氏(和歌山市議会議会運営委員会委員長)「付属機関への参画と監視機能」、嶋崎健二氏(日田市議会議長)「地方創生に関する政策提言〜日田市議会の取組」をもとに監視権を如何に行使すべきかというテーマに切り込んでいくものであった。それぞれがパワーポイントを使いながら、具体的な取組内容を発表していただき本市の議会活動にも参考になる点があった。

閉会行事では静岡市議会から次回開催地兵庫県姫路市への引き継ぎが行われた。今年度の研究フォーラムは鳥取県の参加者は倉吉市の6名であった。お隣の県での開催ということもあり、鳥取県内の市議会議員の多くの参加を望む。議員活動研修の一環として有意義な会であることを実感し会場を後にした。



(3) 東京都千代田区 10/21(木) 10:00~11:00

「要望活動」について



本日の目的は、代議士への要望活動である。千代田区永田町の衆議院第2会館へ移動。

多忙な中を時間をとっていただいた石破茂衆議院議員とお会いする。本市の状況や地方創生に向けた取組への支援をお願いします。石破茂衆議院議員からは本市の取組のさらなる充実を期待すること、国内外の新しい

状況について、国のかかえている課題や方向性、TPP問題やアメリカやロシア等との関係づくりなどについてお聞きすることができた。



2. 視察・調査を終えて

「視察・調査の経過及び感想について」に載せたことはもちろん、他にも沢山のことを学ばせて頂きました。お忙しい中われわれのために対応して頂いた関係者の皆様、到着から出発まで「おもてなし」の心で細やかな心配りをして頂いたことに感謝いたします。

視察最終日の午後にはマグニチュード6.6、震度6弱の地震が鳥取県中部を襲うという状況の中、視察を終え当日中に何とか帰省できました。この間、避難所をはじめとする被災現地の訪問と調査、諸活動にあたり報告が遅くなりましたことお詫び申し上げます。

視察を通して本市に還元できることを取り入れ、市民の皆さんにお役に立てるよう精進いたします。ありがとうございました。